

さまざまな教育活動が彩を持って蘇った令和5年度が今日で終了となります。皆さんにとってこの1年は、充実した1年だったでしょうか。感染症による学級や学校閉鎖もありましたが皆さんが健康に生き生きと、さまざまな活動に全力を尽くして取り組んでくれたこと、そして生徒会活動や各部活動でも素晴らしい結果を残してくれたこと、とても嬉しく思います。3年生の進路結果が続々届いていますが、それぞれが積み重ねた3年という年月の成果として、過去に例をみないほどの素晴らしい結果が届いています。1, 2年生の皆さんにも、1年を振り返って、次年度に向けてどんなことをやっていきたいか、やらなければいけないか。ぜひ振り返りをしてほしいなと思います

私は本が好きで図書館にもよく通いますがきっかけは図書館の司書の先生に本を紹介してもらったことから始まります。先日、太田先生に紹介してもらった本は、「宙わたる教室」という、多様な生徒たちが通う定時制の生徒たちが「自分の未来をあきらめない」という素敵な話でした。ぜひ借りて読んでみてほしい本です。そんなこともあり、今日は年度の終わりにあたって、「夢」について話をしようと思います。

今年はオリンピックイヤーにもあたりますが、パラリンピックの父と言われる、ルードヴィヒ・グッドマンは、「失ったものを数えるな。残されたものを最大限活かせ」という言葉を伝えました。私たちはとかく、後ろばかりを向きがちですが、失ったものを取り戻す努力だけではなく、今生きている中で最大の努力に舵取りを変えるだけで、新しい世界が見えてきます。皆さんの中にも失敗に悩み立ち直れない人が、もしかしたらいるかもしれません。でもあなたの目標とする未来に向けて今できることは何なのか。できなかったことを数えて悲観するのではなく、今やれることに夢を持つことこそ、それが生きることそのものかもしれません。

夢を追うことに年齢は関係なく、私にも先生方にも、年をとっていく人間にも皆、夢を語り、形にすることは一生の生きがいでもあります。この、「大人たちの夢を追う姿」。最近はその姿を、若者たちにも伝えたいと思う瞬間がいくつもあります。

平成22年、世界で初めて小惑星の物質を持ち帰ることに成功した初代はやぶさは、往復の7年間、トラブル続きでした。この故障続きだった初代はやぶさに多くの改良が加えられ、2020年の12月には、「はやぶさ2」が6年の運転を終え小惑星リュウグウから砂を持ち帰るなど、壮大なミッションを達成することができました。地球から3億4000万キロ離れた直径たった900メートルの小惑星に2回もタッチダウンできたこと、夢とロマンが詰まった宇宙計画を、夢で終わらせることなく実現したという事実が心が震えました。失敗しても決してあきらめなかった JAXA の会見では、「100点満点で1万点」と

高揚した表情で語った担当者の目にうっすら浮かんだ涙は、私たちに伝えたい「諦めない気持ち」の表れであったと感じました。先日3月13日には、和歌山県串本町の期待をのせて、民間ロケットが発射されましたが5秒後に大破したニュースが流れました。串本町は過疎に悩む町であり、地域の観光資源にもつながればと、地元の理解と協力が得られたとのことで日本初の民間ロケット射場を誘致しました。そして町を挙げて村人たちの大きな期待を込めた誘致から5年、何度も延期されながらもようやく発射となりました。残念な結果ではありませんが、街の人たちの、興奮したインタビューの様子から、串本町の人たちの期待と壮大な夢は、これからも成功に向けて大きく広がっていくのだろうと推測します

もう一つ、大人の夢を追う姿、皆さんも記憶にあるかもしれません。横浜山下ふ頭の「ガンダムファクトリー」において、大の大人たちのこどもみたいな夢というフレーズで、ガンダムを歩かせるプロジェクトがたちあがり2020年に公開されました。全長18メートルのガンダムがふわりと動いたその様子に、関わった大人たちの無邪気で達成感あふれるその笑顔が、実に魅力的だったことを覚えています。「その踏み出す1歩はやさしさにあふれていた」というコメントも見ました。できないからあきらめるんじゃなく、どうしたら実現できるかを考えて、「できないこと」を「できること」に変えて、今できる形で実現させた 彼らの夢に挑戦した姿を、心から称賛したい と思ったところです。

皆さんは皆さんの夢を、どこに形づくろうと思いついて描いていますか。どんな時期、どんなかたち、どんな姿であっても、あきらめないで向かい続ける姿勢。それは学び続けることの先にあるのだとすれば、まずは学んでいくこと、それが皆さんの今やるべきことかもしれません。どうぞ、次年度も、たくさんの経験とたくさんの学びを、自発的に求めながら、過ごして行って欲しいと願っています。

では、3月後半は新年度への準備を整え4月にまた元気にお会いしましょう